

越北氷雪レターズ

No. 45 平成7年9月10日
(社) 日本雪氷学会北信越支部発行

目次

平成7年度支部顧問・評議員名簿/学習会・技術部会・見学会報告/講演会・学習会・研究発表会の案内/機関誌/新刊ニュース/その他

お知らせ

平成7年度(社)日本雪氷学会北信越支部顧問・評議員名簿

顧問

山征夫
中沖正憲
谷本幸雄
栗田良午
宮村馨
西川正純
小出弘二
本田欣二
杵渕衛
大塩満雄

新潟県知事
富山県知事
石川県知事
福井県知事
長野県知事
上越市長
柏崎市長
小千谷市長
十日町市長
尾市市長
見附市長

日浦晴三郎
大塚久郎
矢田松太郎
伊藤仙太郎
久保田哲夫
大沼匡之
中川正之
中俣三郎
津端一郎
丸山久弘
栗山弘

岡市長
新井市長
加賀市長
能生町長
野沢温泉村長
(社)日本雪氷学会顧問
金沢学院大学・金沢女
子短期大学学長
新潟大学名誉教授
岡短期大学教授
元日本国鉄
大原技術(株)取締役
業務部長

評議員

三宅義彦
炭谷秀樹
西谷建吾
滝本純生
安井常二
川井恒夫
砂塚定廣
佐藤知一
箕輪武典
刈谷典博

新潟県企画調整部長
富山県建設課長
石川県中谷吉郎
福井県総務課長
長野県企業課長
上越市企業課長
柏崎市長
小千谷市長
十日町市長
尾市市長
見附市長

武藤克己
後藤国保
京出孝信
丸山巖
関口恒
古川征夫
千田靖雄
長坂秀雄
藤原光壽

岡市長
新井市長
加賀市長
学館館長
能生町総務課長
野沢温泉村企業課長
(株)アルファ代表取締役
(株)加賀田組常務取締役
北陸電力(株)地域総合研
究所所長
北陸道路エンジニア(株)取締
役

学習会・技術部会

「新潟地区学習会」及び「雪崩の力学研究技術部会」の報告

平成7年7月28日(金)14:00~17:00、長岡雪氷防災実験研究所において、土木研究所新潟試験所 藤沢和範氏を講師に迎えて「雪崩の力学研究」というテーマで講演をしていただいた。その内容は実際の雪崩の統計的特性から、雪崩制御工の効果に至る多岐にわたるものであった。出席者は15名で活発な議論が交わされた。

なお、「雪崩の力学研究技術部会」の活動としてこれで一段落とし、年内に報告書を出すことで合意した。

(早川支部長 記)

富山・石川地区見学会報告

[illegible]

講演会

講演会「雪形の民俗と科学」のお知らせ

ななしに重めもた
物人と共貴たらい
動の安とのいか催
や国目実国な点開
人雪る充雪ら視を
を。知の。雪の会
様すを網すに学演
模ま期測ま雪科講
雪の時観に残然るす
残ての象ての自えま
なし獲気っ様ど考り
々布漁やな模なを
様分や化く斑学義て
るに耕変多る氷意し
れ地農のがな雪なち
現各て業形単、的待
に国し漁雪、え日お
面雪とやいが、今を
斜、標業な形にの加
のは指農ら雪字形参
山形候、かき一雪の
けた、雪氣し分べ、々
けたをかのうプし方
かて現し、在言う直の
に立出。存も、的め数
夏見のた、と学つ多
らに形しれ、時俗見
か形雪まら化民をす
春の、きれ文、形ま
どはて忘なに雪し

日時：平成7年9月24日（日）14:00～16:00
 場所：長岡市中央公民館大ホール（長岡市役所柳原分庁舎4階）
 〒940 長岡市柳原町2-1 TEL:0258-32-0437
 主催：（社）日本雪氷学会北信越支部・長岡市立科学博物館

講演内容：

遠藤八十一氏（森林総研十日町試験地）

「雪形の民俗と雪氷学の接点」
 「新潟県の雪形と民俗」
 「新潟県付近の雪形と民俗」
 「雪形の気候学的考察」

（新津南高） 校 学 博 物 館
 （長岡市） 学 博 物 館
 （長岡市） 学 博 物 館
 （長岡市） 学 博 物 館

藤崎義信氏
 藤崎義信氏
 藤崎義信氏
 藤崎義信氏

斎藤山崎河

参加費：無料

問い合わせ先：

〒950-21 新潟市五十嵐2の町8050番地
新潟大学積雪地域災害研究センター 和泉
TEL: 025-262-7054 FAX: 025-262-7050

〒948 十日町市辰乙614
森林総研十日町試験地 遠藤 or 小南
TEL & FAX: 0257-52-2360

学習会

「越冬よもやま話」

第35次南極地域観測隊の一員として南極ドーム基地にて越冬された佐藤佳昭氏(長岡技術科大出身)によります学習会を、下記要領で開催いたします。越冬生活に関する話題を中心にお話していただく予定になっておりますので、気軽にご参加下さい。

日 時：平成7年9月29日(金) 14:40～16:00

場 所：長岡技術科学大学 機械・建設1号棟4階 機械系会議室

講 師：佐藤 佳昭氏 (新潟潟鉄工所)

問合せ先：上村 靖司 (長岡技術科学大学機械系)

Tel. 0258-46-6000. Fax. 0258-46-6972.

E-mail: kami@nagaokaut.ac.jp

研究発表会

「冬期雪国生活の安全性の高度化に関する研究」

長岡技術科学大学に、セコム財団の寄付によって建設中のセコムホールが、10月17日に開館いたします。これを記念する研究発表会が、下記要領で開催されますので、ご興味のある方は、長岡技科大まで足をお運び下さい。

日 時：平成7年10月17日(火)

場 所：長岡技術科学大学 F講義室

主 催：財団法人 セコム科学技術振興財団、長岡技術科学大学

プログラム：

「屋根雪荷重計の開発に関する研究」

長岡技術科学大学教授 梅村 晃由

「屋根雪等人身事故調査ならびにその防止に関する研究」

岩手大学教授 中村 勉
長岡雪氷防災実験研究所第3研究室長 納口 恭明

「冬期間の市街地における人身事故と安全対策に関する研究」

北海道工業大学助教授 苫米地 司

「都市内外の雪処理技術の効率化に関する研究」

秋田工業高等専門学校教授 伊藤 聡

「冬期野外活動の安全に関する研究」

北海道大学教授 秋田谷 英次

「溪流地における雪泥流の実態と安全対策の研究」

新潟大学教授 小林 俊一

問合せ先：〒940-21 新潟県長岡市上富岡町1603-1

長岡技術科学大学 機械系 梅村、上村

Tel. (0258)46-6000 Ext. 7111または7346, Fax. (0258)46-6972

講演会

特別講演会のお知らせ

「長期エネルギー需給見通し」では、経済成長を維持するためのエネルギー安定供給、緊急事態および地球環境問題への対応を考慮したエネルギーのベストミックスおよび省エネルギーが基本認識となっています。

そこで、今回エネルギーの季節蓄熱では先進的なフィンランドから講師をお招きし、下記の要領で講演をして頂くことになりました。多数の参加をお待ちしています。

題 目：「フィンランドの地熱エネルギー活用について」

日 時：平成7年9月11日（月）10:30～12:00

場 所：福井大学工学部環境設計工学科 G中1教室

講 師：Heikki Iihola
(Vesi-Hydro Consulting Engineer)

企 画：福井大学環境設計工学科、福井県雪対策・建設技術研究所
福井大学積雪研究室、全国さく井協会北陸支部、
福井県雪技術研究会

問い合わせ先：

福井大学工学部環境設計工学科 福原輝幸
TEL. 0776-23-0500 内線 2809
または、福井県雪対策・建設技術研究所 杉森正義
TEL. 0776-35-2412

研究発表会

平成7年度積雪対策研究発表会のご案内

日 時：平成7年10月16日（月）13:30～16:30

場 所：福井市手寄2-1-5 福井厚生年金会館
TEL. 0776-27-7111

主 催：財団法人 日本積雪連合

プログラム（予定）：

講演 「雪と未利用エネルギー」（仮題）

金沢工業大学工学部 若林 宏明
「積雪連合史料にみる雪利用のすがた」（仮題）
（財）日本積雪連合 新宮 璋一

他1～2題を予定

* 入場無料

申し込み：10月6日（金）までに下記へ

〒950 新潟市新光町4-1 新潟県地域政策課内
財団法人 日本積雪連合
TEL.&FAX. 025-285-3440

『氷河期の研究 氷河時代の置き手紙』 丹治茂雄著
あかね書房／縦24cm×横19cm／64頁／定価1,800円

この本は、あかね書房の「研究シリーズ」（全10巻）の一つとして、94年4月に出版された小学校中級以上の児童を対象としたものである。本書では、北海道大雪山、アラスカ、カナダにおける取材から得られた数々の美しい写真を中心として、分かり易い文章とイラストによって、氷河期から現在に至る寒冷地の自然環境が語られている。取材対象も、氷河、雪溪、地形、地質、動植物と多岐にわたり、いずれの写真からも自然の厳しさ、はかなさ、不思議が伝わってくる。著者は、これらの取材を通して、我々の知らない氷河期に思いを馳せるとともに、現在の人類が自然と如何につきあっていくべきかを探ろうとしている。もちろん大人にも楽しめる本である。

（河島幹事 記）

『平成7年度 今日の気象業務－自然と地球をみつめて－』

気象庁編
大蔵省印刷局／A4判／206頁／定価1,950円

気象庁が日本の気象観測120周年の記念事業として、気象記念日に当る6月1日に初の「気象白書」として発行したものである。内容は、序章としての“気象業務120年をふりかえって”に続き、“第1部 最近の気象・海洋・地震・火山等の状況”、“第2部 今日の気象業務の動向”及び“第3部 国民の安全とニーズに対応した新たな気象事業の展開に向けて”の3部から構成されている。最近の新たな気象事業の展開については、兵庫県南部地震について頁を割くとともに、気象予報士制度についても解説がなされている。全体に図表や写真を多く用いてわかりやすく説明されており、中でも写真のほとんどがカラー写真というのが目立つ。

（小林幹事 記）

機関誌

『雪氷北信越15号』発行のお知らせと

自由投稿文・広告の募集

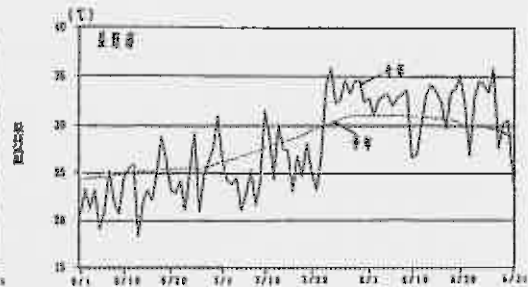
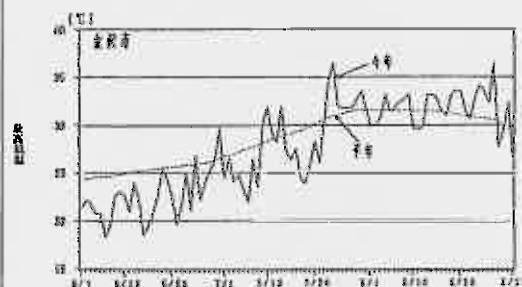
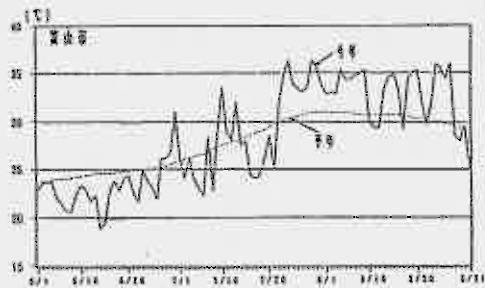
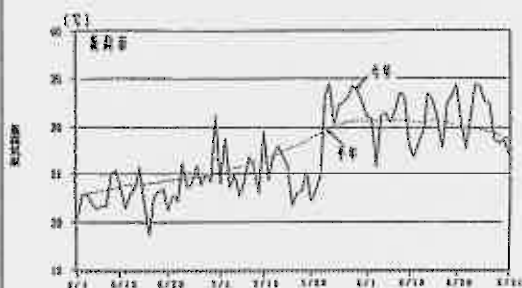
北信越支部編集委員会では、年末に『雪氷北信越15号』の発行を予定しております。つきましては、下記の通り、随筆・評論的な自由投稿文を募集致しますので、奮って御投稿下さい。また、同誌に掲載する広告を募集致します。『雪氷北信越6号』最終頁を御参照の上、御連絡下さい。

1. 字数：3000字程度（用紙は自由）

2. 問合せ先：〒940 新潟県長岡市栖吉町前山187-16

長岡雪氷防災実験研究所 小林俊市（TEL. 0258-35-7522）

冷夏から猛暑へ！ 今年の夏の記録



* データは朝日新聞、新潟日報のお天気欄より。
最高気温は0～15時までの記録。

(小林幹事 記)

その他

『ニューズレター雪氷北信越』について

ニューズレターに関するお問い合わせは
長岡雪氷防災実験研究所 小林俊市

TEL. 0258-35-7522
FAX. 0258-35-0020

までお願いします。